

11・30全国集会へつなげ!

NRU 国労せんだい

No. 2507
2007年11月28日
発行責任者 橋本 昭二
編集責任者 武田 昌仙

「国鉄」知らぬ若者も!宮城集會に230名が結集



主催者を代表して挨拶する及川平労議長

集會は菅原晃悦県平和労組会議事務局長の司会で開會し、主催者を代表して及川平労議長は「平和と民主主義を守る立場で国鉄闘争を支援してきた。JR不採用事件は民主主義に対する攻撃である。」「非正規労働者三三%、年収二百万未

主催者挨拶

満の労働者が一千万人を超え、ネットカフェ難民の増加、自殺者三万人、生活保護の打ち切り等々、このような反動の世の中、政治の根拠が国鉄改革であった。「世直しの取り組みの強化と合わせ、前進するため早期解決に向け共闘を張ろう。」と力を込めて訴えた。

十一月二十日、仙台市内「ハーネル仙台」において宮城県平和労組会議の主催による「JR不採用事件の早期解決を求める11・20宮城県集會」が国労組合員と共闘の仲間ら230名を集めて開催された。

来賓として挨拶に立った社民党県連合の大槻正俊仙台市議會議員は「二〇年前から支援する会の取り組みを国労と共に取組んできた。」「仙台市議會議員としての意見書採択は叶わなかったが、提起した意義は小さいものではなかった。」と国鉄闘争との関わりを報告し、これからも国労を支え、地域の仲間との連帯を強化していくと呼びかけた。



社民党県連大槻市議

来賓挨拶

在は「四者・四団体」で解決に向け一致して取組みを進めている。「〇三年十一月最高裁は不当労働行為があったとすれば国鉄に責任があると明確にし、ILOは七度目の勧告を日本政府に提出している。「七月の参院選で与野党逆転、民主党北海道・九州を中心に政治の場でも尽力頂き、連合も国労の運動に協力を頂いている。」「七二八自治体から一〇九五本の意見書の採択を頂いており、沖縄の十一万人集會のように世論の盛り上がりが大切。」と、11・30集會への呼びかけと、今後とも共に闘う決意と要請を行った。

本部から情勢報告

続いてメッセージ(菅野哲雄衆議院議員)が紹介され、その後高橋伸二国労本部委員長からは「四党合意に伴う不団結もあつたが現



国労本部高橋委員長



高橋仙台闘争団団長

闘争団紹介と決意

闘争団の紹介では高橋敏

夫仙台闘争団団長と佐藤昭一(大崎市議會議員)団員が紹介され、代表して高橋団長が「様々な不安を抱えているが、関係者の団結が深まった今、何としても解決を勝ち取っていききたい。今後変わらぬ支援を」と解決に向けた決意を述べた。

稚内闘争団からの要請

更に宮城県の受け入れ闘争団である、稚内闘争団の鈴木勝氏からは、北海道の厳しい状況や、自らの東京オルグ等でつかんだ中小企業の共闘の重要性が報告されると共に、今後変わらぬ支援が要請された。



鈴木勝稚内闘争団員

国労からお礼の挨拶

国労からお礼の挨拶として、橋本昭二仙台地本委員長がこの間の国鉄闘争に対する理解と支援のお礼と11・30集會への参加の呼びかけ、これからの運動に対する更なる支援を要請し、挨拶とした。



仙台地本橋本委員長

集會決議を採択

続いて決議案の採択に移り、全水道丹野伸二さんによる「JR不採用問題の早



全水道丹野さん

期全面解決を求める決議(案)の提案に対し、満場の拍手によって決議を採択した。最後に及川議長は「団結を張ろうで集會を締めました。」



JR不採用事件の早期解決を求める宮城県集會



仙台地本選抜チームと個人の部参加のみなさん

地本選抜が初入賞!

◆11月10日、皇居外周のマラソンコースにおいて、第12回国労東日本本部主催のマラソン大会が開催された。当日は2年連続の雨にたたられたが、悪天候をもとめせず熱い闘いが展開され、駅伝の部では仙台地方本部選抜チームが初の3位入賞の栄冠に輝いた。

駅伝の部で堂々三位!

東京は昨年引き続き生憎の雨模様。駅伝の部にエントリーしたのは、昨年まで二連覇の長野チームを筆頭に実力派揃いの十八チームである。結果は仙台地本初の入賞となった。優勝は下馬

評の高かった長野地本チームが実力を遺憾なく発揮し見事三連覇を飾った。また駅伝大会に先立って行われた個人の部(5km)では、仙総支部の高橋正人選手が3位、南幅清也選手



堂々の3位でゴールするアンカーの佐藤選手

が5位、大知里正選手が6位入賞にそれぞれ輝いた。仙台地本チームAの選手

会社は重大性を認識すべき

◆会社の根幹を揺るがすような重大な事故が多発している。しかも一向に止む気配がない。連続して発生した仙台駅の停電、奥羽本線で軌間内ヘアセチレンガスボンベの放置、指令ビル停電に伴う線閉支援システム等のダウン、仙台構内での退避遅延、各線区でのポイント・信号機故障による輸送障害等々、システムを問わず、挙げれば枚挙に暇が無い程である◆会社は今年度、緊急現場長会議を何回開催したであろうか。その都度現場長は引締めという言葉

と言われそうだ。確かに危機感は一貫している認識はどうだろうか◆JR西日本では行き過ぎた日勤教育による「恐怖心」で労働者をコントロールしてきた。ミスすれば乗務停止と罵詈雑言の日々。裏を返せばミスは全て個人の責任にすり替えられ、会社には一つの落ち度もないぞぶりを見せていた◆多発する事故の原因に対する国労の見解は単純だ。行き過ぎた効率化・合理化の結末である◆仙台支社ではどの位の危機感が存在するのか。聞けば20周年の記念誌を発行するという。発想は悪くない。そうしたものとこれは別、との意見もあるだろう。しかし「安全・安定輸送」がガラガラと音を立てて崩れ始めている現状の中で、個人情報(家族なども含めて)を公の目に触れる事を承知で、しかも承諾するものだろうか◆JR発展の「光」を強調したい気持ちは理解できるが、一方の「影」を無くすことに全力を尽くすのが先ではないだろうか。



編集長の眼

頂いた事であろうが、その後現場で繰り返し指示される対策は「基本動作・ルール」の徹底である◆当り前の動作、当り前の約束事が守られない。これは深刻である。どうして守る事・守らせるが出来ないのか、本気になって考える必要がある。福知山線・羽越線の轍を踏むことは許されないのである◆「そんなことは指摘されるまでもなく認識している」

- は以下の通り。
- 1区 佐々木晴基
 - 2区 南幅 清也
 - 3区 高橋 正人
 - 4区 内館 弘明
 - 5区 高橋 真人
 - 6区 佐藤 勝成
- (敬称略)
- 皆さんお疲れ様でした。

仙台分連協が総会

分連協への更なる結集を

十一月十六日、こくろう会館において、第十八回仙台分連協総会が開催された。総会では船水副議長長の挨拶で開会し、議長に八重沢代議員(仙台信通)を選出し、

- 退職
- 十月三十一日
- 高橋 曙光さん
- 郡山電力技術センター
- 長い間お疲れ様でした

議事が進められた。挨拶に立った赤間議長は「JR不採用問題は四者四団体の枠組みで進められている。年度内解決に向け重大な局面であり、11・30集会へ仙台分連協として最大限取り組む」と述べ、分連協への更なる結集を呼びかけた。

来賓として中島地本副委員長、秋山県支部委員長より挨拶を受け、さらに稚内闘争団の鈴木氏より現状報告を頂いた。

特徴的な発言

- ◆空港アクセス線では完全ワンマン化◆日勤教育という名の乗務外しにより精神的に追い詰められストレスから病気へ◆仙石線乗務は一日276回も駅へ停車。あおばく陸原間は地下駅のため間違いやすく老若関係なく間違っている(仙台・宮城野運輸区)
- ◆他労組が取り組んでいる解雇撤回の署名では社長宛でもあり抵抗があるようだ。太田氏の加入のように意識的に関わりを(仙台電車区)
- ◆組合新聞を「誹謗・中傷がある」として会社が剥がしていった。日頃の点検・

- 摘発が大切である(仙石線駅連) ◆出向先の会社ではルールを守りましょうというだけ◆仕事が回らない状態などが出された。
- 伊藤事務局長集約**
- ◆今年一番のうれしいニュースは仙台電車区と仙台駅連合分会での組織拡大。関係者の努力に感謝と敬意◆分連協内のつながりを大切に。そのためには花見・芋煮・北部現業交流会への参加を◆北部現業交流会では出勤システムやJINJER他問題点や課題が浮彫りに◆JR東・JR貨物・闘争団一体となった交流の中から反撃していこう
- 2007年度役員・幹事**
- 議長 赤間 邦夫 (仙台駅連)
 - 副議長 村松 孝一 (仙宮運輸区)
 - 曾我 浩之 (仙石線駅連)
 - 船水 清吾 (仙宮運輸区) 事務局長
 - 伊藤 稔 (仙台建築) 事務局次長
 - 岩井 幸二 (貨物宮城) 会計監査
 - 小野 聡 (東工所)
 - 富田 浩幸 (仙台保線) 幹事
 - 大友 孝一 (仙台病院)
 - 昆野 正則 (仙台駅連)
 - 菊地 範行 (仙宮運輸区)
 - 宍戸 康 (仙台保線)
 - 松本 雅裕 (仙台建築)
 - 阿部 義広 (仙台電力)
 - 八重沢 弘昭 (仙台信通)
 - 菊田 優 (東工所)
 - 千葉 覚 (仙石線駅連)
 - 我妻 美津男 (仙台電車)
 - 前田 雄一 (貨物宮城)



お知らせ

国労会館建設資金返済業務の取り扱い変更について

国労会館建設資金返済業務は1999年度末償還期限以降、(財)国労会館仙台事業部で取り扱いを行ってきたところですが、このたび返済業務が一定の整理を見たこと等から、(財)国労会館仙台事業部で取り扱ってきた業務の残りについて、国労仙台地方本部で引き受けることになりました。つきましては、今後の国労会館建設資金返済請求については下記に請求をしてください。

住所 記

〒984-0015
仙台市若林区新寺一丁目4-31

名称 国鉄労働組合 仙台地方本部

担当係 岡崎

連絡先

TEL02212937460
FAX022129917435

請求方法

所定の請求書に必要事項を記載の上「国労会館建設資金受領之證」とあわせて提出してください。

以上